

環境にやさしい省エネ生活をめざして 環境講演会を行いました



2月13日(土)に町民センターで3部構成の環境講演会を行いました。第1部の町民環境活動報告では、「エコライフ開成の会」の小林秀樹さんによる生ごみ堆肥化への取組の発表や、「開成町消費者の会」の買い物袋持参を呼びかける寸劇が行われました。

楽しく分かりやすい「消費者の会」の寸劇
笑い声が絶えませんでした。

第2部では東京電力(株)の井上寿恵さんを講師に、家電の待機電力の測定を通じた省エネの講演が行われ、参加者は、ちょっとした心がけの省エネがこんなに家計にやさしいものかと実感していました。第3部では、町からのお知らせとして、町職員が生ごみの水切りなど家庭でできるごみ減量を実演しました。

参加者からは、「今まで省エネ生活を実践してきたつもりでしたが、まだまだ不十分と感じました。日ごろの生活の中で地球のためにできる身近なことをしたい」という声が聞かれました。☎環境防災課 ☎84-0314

このまちが大好き まちづくりの夢やアイデアを提案! 中学生議会

初開催



町のことを考え、当日までに下調べをして提案しました

2月10日(水)、町議会議場で「中学生議会」が開催され、文命中学校1年生167人が議長や議員を体験しました。中学生を対象にした模擬議会の開催は今年度が初めてです。

議会は3回に分けて実施され、中学生から町に対して質問や提案を伝え、町長や教育長が答弁しました。

今回の議会では、自分たちに身近な学校や道路の問題だけでなく、農業の後継者対策、工場などに対する環境対策、町の交通アクセス、政権交代による町に与える影響など、発達の段階にあった中学生らしい多様な質問や提案が出されました。

議場の独特の雰囲気子どもたちは、少し緊張の様子が見えましたが、議長や代表者の質問などを立派にこなし、終了後は、ほっとした人や満足した人などのいろいろな笑顔が見られました。また、傍聴席では、保護者や学校関係者などが、一生懸命意見を述べる中学生の姿を見守っていました。

☎教育総務課 ☎84-0324

開成南小学校開校記念イベント

みんなで植栽

「ボランティアによる植栽」
「寄贈樹木植栽式」



▲校舎北側にジンチョウゲやツツジなどの樹木を熱心に植えました。



寄贈された樹木は正門近くに植栽されています。

2月6日(土)、開成南小学校で、ボランティアによる低木の植栽が行われ、開校を前にして、122人が参加しました。

親子での参加も多く、「これからどのくらい大きくなるのかな」「自分で植えたことは記念になる」と楽しそうに会話しながら植えていく姿が見られました。

2月15日(月)には、開校を記念して寄贈していただいた樹木の植栽式を行い、寄贈者のほか、開成小学校園芸委員会35人の児童、校長などが出席しました。

寄贈された樹木の前には銘板が設置され、寄贈者、副町長、教育長により除幕が行われました。

除幕後は、多目的ホールに移動し、それぞれの寄贈者の方からあいさつがありました。

(有)遠藤商事の遠藤幸雄さんからは、「木は丹精を込めて育てました。これからは皆さんとともに成長してもらいたい」との話があり、児童たちは寄贈樹木をたいせつにしななければならないと感じている様子でした。

※15ページインフォメーションで寄贈していただいた方を紹介

☎教育総務課 ☎84-0324

2100
この広報紙は環境にやさしい古紙配合率100%の再生紙と大豆インキを使用しています。